

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

香川県坂出市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救 臨 感 へ 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
53,249	15,888	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

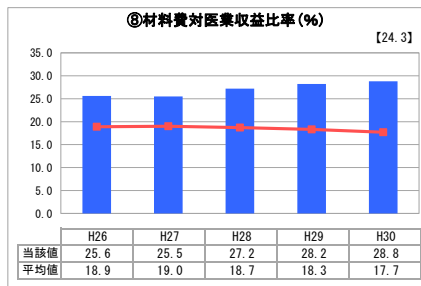
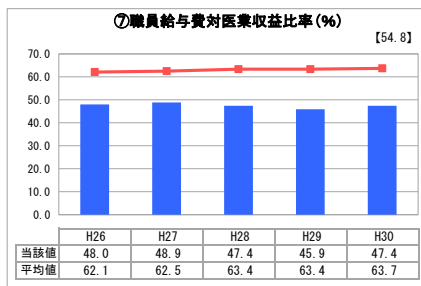
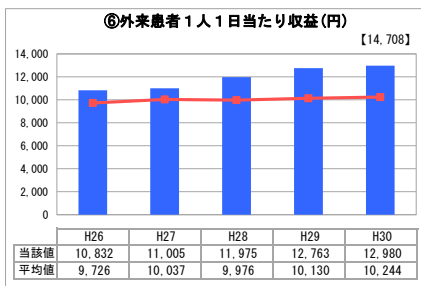
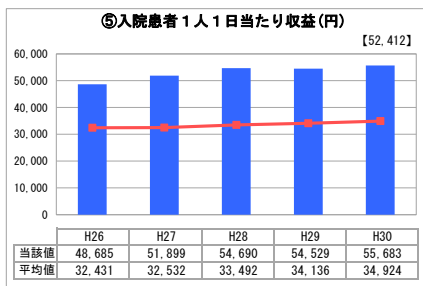
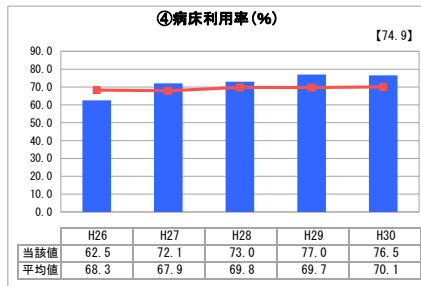
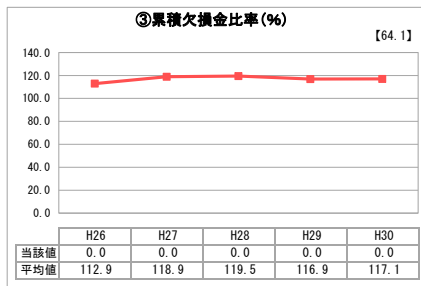
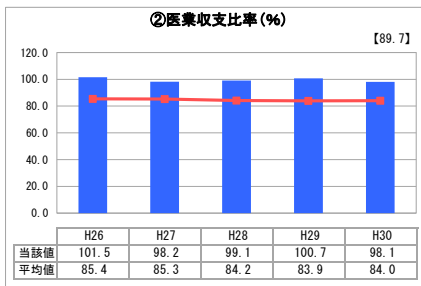
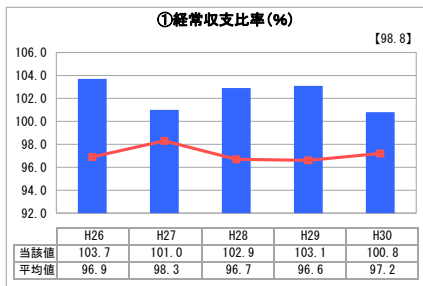
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
190	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	194
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
186	-	186

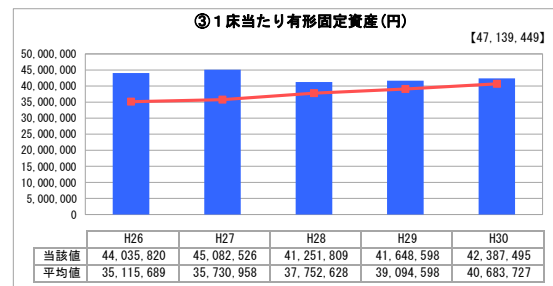
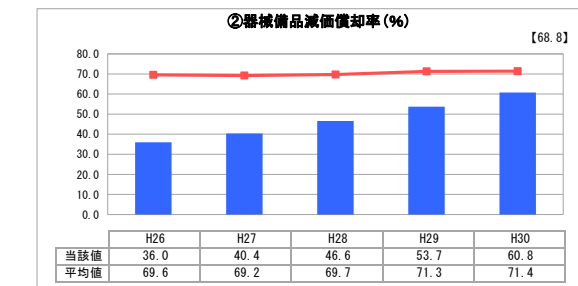
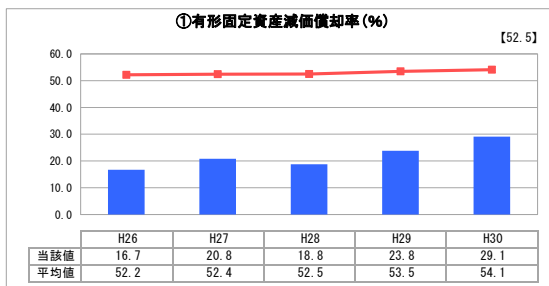
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

市内外の山間へき地・離島などで医療が受けにくい人たちのために医師を派遣しています。また、救急告示病院・病院群輪番制病院として夜間・休日にも医療が受けられるような態勢を整えています。なお、臨床研修病院として次代を担う医師の育成にも取り組んでいます。平成30年度は、第二種感染症指定医療機関の指定を受けました。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度も経常黒字を維持しています。入院患者数が微減となったため④病床利用率は低下しましたが、⑤入院患者1人1日当たり収益、⑥外来患者1人1日当たり収益は増加しています。また、良質な医療を提供するために職員を採用し職員数を増やしているため職員給与費は増加していますが、医療収益もそれに伴って増加しているため、⑦職員給与費対医療収益比率がある程度一定に保たれています。外来における化学療法患者が引き続き増加しているため、薬価の高い薬品使用が増え、⑥外来患者1人1日当たり収益および⑧材料費対医療収益比率が増加しています。

### 2. 老朽化の状況について

平成26年度に老朽化していた建物より新築移転しましたので、①有形固定資産減価償却率は類似病院平均値を大きく下回っています。これは建物の減価償却が進むに伴い、増加していく見込みです。②機械備品減価償却率は新築移転前とほぼ同水準に戻りましたが、類似病院平均より低くなっています。器械備品の更新に伴い③1床当たり有形固定資産は増加傾向で、類似病院平均と近い数値になっています。これからも、器械備品の耐用年数を鑑み、優先順位および必要性を考慮し器械備品の更新を行っていきます。

### 全体総括

平成28年度に策定した坂出市立病院改革プラン（平成29年度～令和2年度）に基づき、診療材料のベンチマーク分析を導入し、材料費の抑制に努めています。全体的に他の類似病院に比べ、良好な数値であり、これからも良質な医療を提供していくために、経営状態を良好に保っていく必要があります。経営理念である、「市民が安心して暮らせる、心の支えとなる病院に」を目標に公立病院としての役割を再認識し、医療体制の確立や、患者サービスの向上に努めるとともに、経営の健全化を図りつつ、地域に密着した医療を推進するために努力していきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。